

Ⅲ. 調査結果

1. 成人のスポーツ実施人口

成人の種目別スポーツ実施人口の推移を表Ⅱに示した。年1回以上の実施人口は、2000年調査では「ボウリング」(1,960万人)が最も多く、次いで「水泳」(1,189万人)、「ゴルフ(コース)」(1,096万人)、「スキー」(846万人)、「卓球」(624万人)であった。2010年調査では「ボウリング」(1,381万人)、「ゴルフ(コース)」(934万人)、「水泳」(742万人)、「バドミントン」(701万人)、「登山」(509万人)の順であり、2000年調査と上位3種目は同様であるが、10年間で実施人口は減少傾向にある。

週1回以上の実施人口は、2000年調査では「水泳」(374万人)が最も多く、次いで「バレーボール」(169万人)、「テニス(硬式)」(151万人)、「野球」(147万人)、「バドミントン」(143万人)であった。2010年調査においても「水泳」(213万人)、「バレーボール」(145万人)、「テニス(硬式)」(140万人)、「野球」(119万人)、「バドミントン」(104万人)と上位種目の順位は変わらないが、実施人口には減少傾向がみられる。

2000年からの10年間の推移をみると、年1回以上の実施人口の増加がみられる種目は「サッカー」「バスケットボール」「バドミントン」「テニス(硬式)」であり、週1回以上では「サッカー」「バスケットボール」である。つまり、年1回以上、週1回以上ともに増加している種目は、13種目のうちサッカーとバスケットボールのみであり、特にサッカーの実施人口の増加は顕著である。

一方、実施人口の減少が激しい種目は「スキー」であり、年1回以上の実施人口は10年間で半減している。また、「水泳」と「ソフトボール」も年1回以上、週1回以上の実施人口の減少が、他の種目に比べて顕著である。

表Ⅱ 成人の種目別スポーツ実施人口の推移

(万人)

	実施頻度	2000年 (n=2,232)	2010年 (n=2,000)
ボウリング	年1回以上	1,960	1,381
	週1回以上	111	36
ゴルフ(コース)	年1回以上	1,096	934
	週1回以上	62	62
水泳	年1回以上	1,189	742
	週1回以上	374	213
バドミントン	年1回以上	566	701
	週1回以上	143	104
登山	年1回以上	592	509
	週1回以上	22	10
サッカー	年1回以上	214	478
	週1回以上	45	104
野球	年1回以上	597	467
	週1回以上	147	119
卓球	年1回以上	624	462
	週1回以上	94	67
スキー	年1回以上	846	420
	週1回以上	13	0
テニス(硬式)	年1回以上	388	389
	週1回以上	151	140
ソフトボール	年1回以上	530	343
	週1回以上	76	52
バレーボール	年1回以上	423	327
	週1回以上	169	145
バスケットボール	年1回以上	165	208
	週1回以上	53	57

注) 2010年調査における実施率(年1回以上)の上位順で表示

笹川スポーツ財団「スポーツ活動に関する全国調査」(2000~2010)より作成